

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 20 年 8 月 28 日 (2008.8.28)

【公開番号】特開 2002-121040 (P2002-121040A)

【公開日】平成 14 年 4 月 23 日 (2002.4.23)

【出願番号】特願 2001-236437 (P2001-236437)

【国際特許分類】

C 0 3 B 33/027 (2006.01)

B 2 8 D 5/00 (2006.01)

C 0 3 B 33/03 (2006.01)

【F I】

C 0 3 B 33/027

B 2 8 D 5/00 Z

C 0 3 B 33/03

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 7 月 14 日 (2008.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ディスク状ホイールの円周部に沿って V 字形の刃を有する脆性材料基板用カッターホイール(1 1)において、

前記 V 字形の刃を形成する際に、刃の稜線部である刃先(1 3)が多角形の形状となるように加工したことを特徴とする脆性材料基板用カッターホイール。

【請求項 2】 刃先の各直線部に対し、所定深さの切り欠きを設けた請求項 1 記載の脆性材料基板用カッターホイール。

【請求項 3】 上記多角形は 16 ~ 300 の角数のいずれかを持つ請求項 1 ~ 2 のいずれかに記載の脆性材料基板用カッターホイール。

【請求項 4】 上記ホイールの径は 1 ~ 20 mm の範囲である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の脆性材料基板用カッターホイール。

【請求項 5】 上記ホイールの厚さは 0.6 ~ 5 mm の範囲である請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の脆性材料基板用カッターホイール。

【請求項 6】 上記刃先の角度は 90 ~ 160 ° の範囲である請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の脆性材料基板用カッターホイール。

【請求項 7】 テーブルに載置したガラス板に対して、カッターヘッドが相対的に X および Y 方向に移動する機構の自動ガラススクライパーにおいて、前記カッターヘッドに請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の脆性材料基板用カッターホイールを具備したことを特徴とするスクライパー。

【請求項 8】 柄の先に設けたホルダーに、請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の脆性材料基板用カッターホイールを回転自在に軸着してなることを特徴とするスクライパー。

【請求項 9】 請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の脆性材料基板用カッターホイールは、該ホイールに挿通される軸と一体的に形成されることを特徴とする脆性材料基板用カッターホイール。